

平成26年度



学校だより 第2号

チャレンジ&ありがとう

高岡市立木津小学校
平成26年5月21日
発行責任者 森田英宏

美しい集団

教頭 笹島久美子

5月17日(土)、運動会が開催されました。各学年の疾走や工夫を凝らした遊走、白熱した団競、全校292名での綱引き、そして、6年生のアイデアと各色団のパワーが結集した応援合戦。

子供も参観者も大いに競技やパフォーマンスを楽しみました。

子供たちに熱い声援を送ってくださった地域、保護者の皆様、そして、朝早くから会場設営や駐車場の整理等に尽力してくださったPTA役員の皆様、本当にありがとうございました。

何十回経験してきても、運動会を迎えると、毎年新たな感動を覚えます。心と体の全力をかたむけて走りぬく美しさ、深く勝敗を受け入れる清々しさ、我を忘れ声をからして応援仲間とひとつになる瞬間・・・教室の学習では味わえない深い達成感や生きている実感を子供たちは体験します。そんな時、目に見えない心の根っこが、ぐんと育つのです。

私たちは毎日いろんな種類の「人の集まり」の中に住んでいます。

家庭で家族たちと。学校で学級の友達と、学年の友達と。地域で、近所の人たちと、個人的なつきあいの友達と。私たちは「たった一人」でいるときよりも「人の集まり」の中にいる自分である方がずっと多いのです。

だから、自分が属している「人の集まり」の質はとても重要です。その影響をもろに受けるのだから。私は、集団には3つの種類があると思っています。

- 一つ目 「群れ」・・・ただ集まっているだけ。心はばらばら。共通の目標もない。
- 二つ目 「徒党」・・・一人では何もできないけれど、人数を頼みにして強がる。みんなでレベルダウンしている。
- 三つ目 「美しい集団」・・・集まりの中に役割分担があって、共通の目標もある。人にとって大切なことを学び合う。お互いに高め合う。

運動会での木津小学校は、実に美しい集団でした。それは、子供も大人も「運動会を成功させる！」という同じ目標をもって行動していたからです。もともと「よい集団」はありません。もともと「よくない集団」もありません。ただあるのは「人の集まりだけ」。その集まりをどんな「集まり」にするのか・・・それは属する人たちの意識や努力によって決まります。学校では「目当てをもち、関わり合い、自らを高めていく子供を育てる」ことを目標としています。運動会で得た成就感を今後の活動に活かし、みんなでがんばるときは心をつなげて協力する、ひたむきに温かい木津小学校をつくっていきたいと思います。これからもご声援をよろしくお願いいたします。

伝統工芸に触れて

高岡市には優れた伝統工芸や産業があります。5年生や6年生は「ものづくり・デザイン科」の学習で優れた技術をもつ地域の人々との交流や錫や漆器の製作体験をします。6年生は校区の盤若剛先生を講師に招き、漆器の彫刻塗りをします。

5年生は、「曲がる錫のオリジナル小物」に初めて挑戦します。

今は、工作用紙で試作を重ねながらイメージを練っています。

子供たちは、初めての体験に四苦八苦しながらも、「できあがり」が楽しみになってきた。「難しいけれど、楽しい。」と集中して取り組んでいます。作品は学習発表会で展示します。どうぞ楽しみに！



入学を祝う会

5月2日、6年生が企画運営した入学を祝う会が行われました。

入学から3週間ほどたち、1年生も少しずつ学校に慣れてきました。当日は自分たちを祝う集会ということで少しどきどきしていたようです。たくさんのお兄さんやお姉さんに囲まれ、にこにこ笑顔でとてもうれしそうでした。各学年からは出し物や招待状、プレゼントがありました。また、一緒にゲームをしたり、歌を歌ったりして楽しい時間を過ごしました。



3年生の出し物



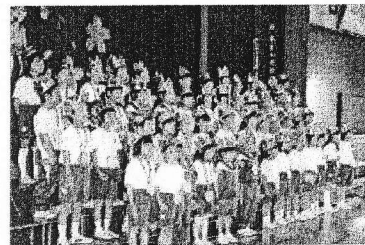
4年生のゲーム



2年生からのプレゼント

これからどうぞよろしく

最後に1年生がお礼に校歌を元気よく歌いました。校歌は、2年生が教えてくれました。5年生からの招待状のメダルと2年生からの王冠がよく似合って、とてもかわいかったです。



がんばった 運動会

5月17日、「燃えろ 木津っ子 優勝目指し ベストをつくせ！」のスローガンのもと、運動会が行われました。好天に恵まれ、ゴール目指して一生懸命走ったり、色団のみんなで声を合わせて応援したり、木津っ子パワー全開の日でした。運動会という大きな行事を一つ終えることで、目標に向かって努力することの大切さや、みんなで力を合わせる楽しさを学ぶことができました。

保護者の皆様には、子供たちのがんばりに温かいご声援をいただきました。また、テントの準備やグラウンドの縄張り、学校の周りの見回りなどのご協力をいただき、ありがとうございました。

